

塗抹スライドでのリンパ球免疫染色（悪性リンパ腫T/B鑑別）

検査ご依頼方法

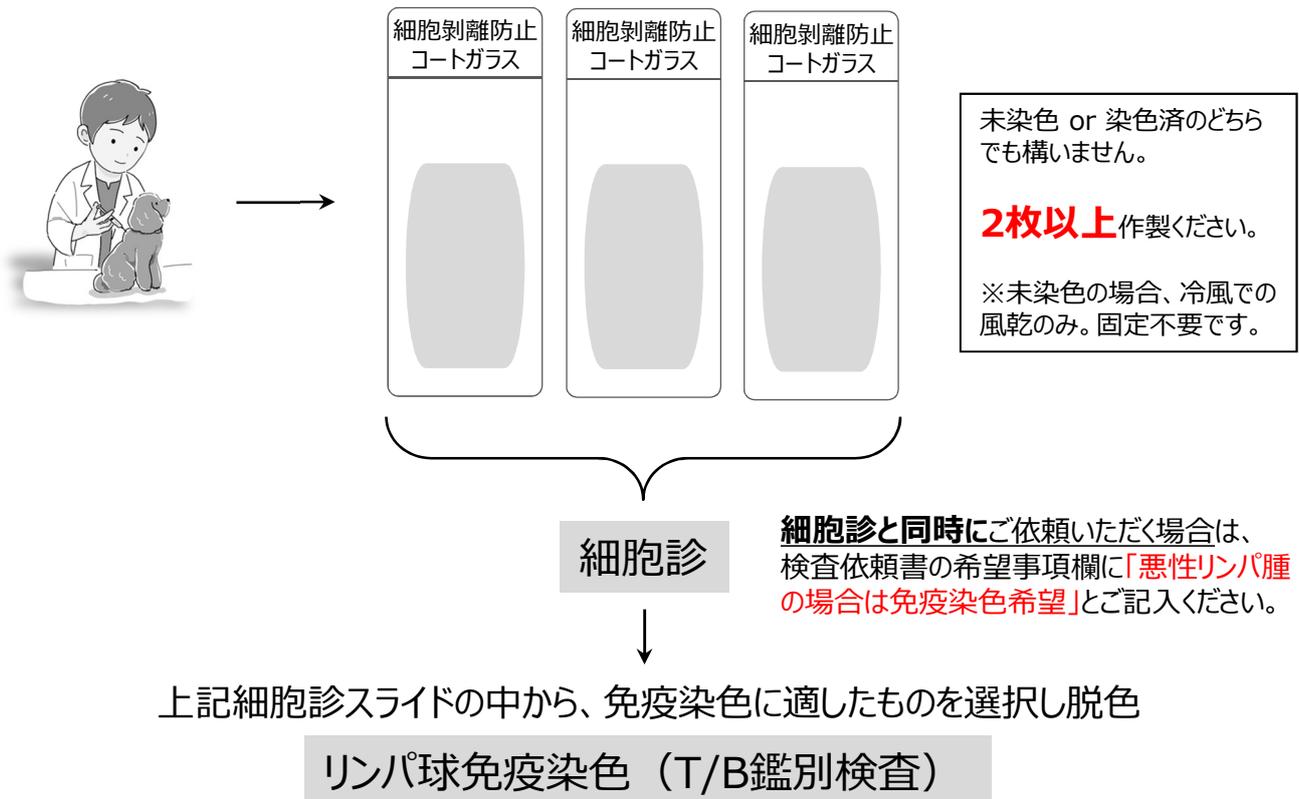
株式会社アマネセル
2024.1月改ver.

「悪性リンパ腫」を疑う細胞診検体は...

すべての塗抹を、**細胞剥離防止コートガラス**で作製してください。

そうしていただくことで、細胞診の結果からT/B鑑別が必要になった場合、当社にて細胞診後の塗抹を脱色して、そのままリンパ球免疫染色も実施できます（下図参照）。つまり...免疫染色用として**別に塗抹スライドを作製する必要がありません**。

細胞診（ギムザ染色）で悪性リンパ腫と判断した同じ細胞を、免疫染色（CD3, CD20）で染め分けし観察することで、T細胞型なのかB細胞型なのかを鑑別（新Kiel分類含む）します。



※なお、弊社細胞診にて悪性リンパ腫（疑い含め）と診断された患者様で、あらためて検体を採取し免疫染色のみ希望でご依頼いただく場合は...

- ① あらたに免疫染色用として細胞剥離防止コートガラスで作製した塗抹スライドとともに、前回細胞診で悪性リンパ腫と診断された際のギムザ染色スライド（細胞診報告時に、当社より返送済）を必ず同封ください。
- ② 検査依頼書の希望事項欄に、「**CZ-00000**（前回細胞診検査番号）」と「**免疫染色のみ希望**」とご記入ください。